

# 過去には多くの人命が奪われました 土砂災害への備え

## 過去の主な被害

### 1975年8月6日 岩木山土石流災害

死者	22名
重軽傷者	45名
住家全半壊	37棟

豪雨により蔵助沢で発生した土石流の土砂や巨岩が百沢地区を直撃し、家屋を約500m押し流した。



土石流が民家を巻き込みながら流れた後の百沢地区(1975年8月)  
写真提供:弘前市

## 土砂災害の種類

<h3>がけ崩れ</h3> <p>雨や雪どけ水などがしみ込み、斜面が突然崩れ落ちる現象</p>	<h3>土石流</h3> <p>山や谷底の石や土砂が、大雨や雪どけ水などと一緒になって一気に流れ出る現象。</p>	<h3>地すべり</h3> <p>ゆるい斜面の地盤に雨がしみこみ、浮いたような状態でゆっくりと斜面を下る現象。</p>
---	---	---

〈資料〉NPO法人土砂災害防止広報センター

## 弘前市の被害想定 (弘前市防災カルテより)

### 市内の土砂災害危険箇所

土砂災害警戒区域	604ヶ所(急傾斜地227ヶ所、土石流347ヶ所、地すべり30ヶ所)
土砂災害特別警戒区域	227ヶ所(急傾斜地160ヶ所、土石流67ヶ所)

### 警戒区域内の建物戸数

戸数	2,299棟	避難者数	4,023人(市全体の2.2%)
----	--------	------	------------------

危険箇所は、岩木山南側の県道3号弘前岳鱒ヶ沢線に沿って多く分布しています。また上岩木橋より上流の岩木川流域、相馬川流域に点在しています。

## 発生前の備え

土砂災害は、発生してから逃げるのが困難です。事前の備えはしっかりと

### 気象情報の入手

注意報、警報で想定される被害の規模を知りましょう。

<b>大雨注意報</b> 1時間25mm以上の雨	小規模のがけ崩れが始まる
<b>大雨警報</b> 1時間40mm(山沿い45mm)以上の雨	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり避難の準備が必要

### 土砂災害警戒情報

土砂災害の危険度が高まったときに、住民の自主避難の参考になるよう発表されます。斜面の近くにいる人は、発表されたら避難の準備をしましょう



大雨で民家の裏のがけが崩落した西茂森地区(2013年9月)  
写真提供:弘前市

## Check こんな前兆現象に注意!

### 前兆現象を見たら弘前市からの避難勧告指示を待たずに避難しましょう。

- 崖から水が湧き出す
- 雨でも川の水位が下がる
- 沢の水が濁り流木が混じる
- 斜面に亀裂ができる
- 小石が転がってくる
- 異様な臭いがする



避難が遅れて自宅に留まった場合は、建物の2階以上や、斜面から離れた部屋などに移動しましょう。

### POINT

## 土砂災害は大雨以外の要因でも発生します!

### なだれ

春先、雪どけによって大量の水分が土の中にしみこむと、なだれとともに土砂崩れが発生することがあります。山沿いでは、天気予報で「なだれ注意報」が発表されたら注意が必要です。

### 大きな地震

地震(過去の事例では震度5強以上)が原因で、土砂崩れが発生することがあります。東日本大震災では、仙台市内の住宅地で地すべりが発生しました。強い揺れを感じたら、斜面から離れましょう。

